

AXIS Q6300-E Panoramic Camera AI搭載 / 360°のオーバービュー / 容易な設置

この全指向性カメラは、4つの1/2インチセンサーを搭載し、合計4x5メガピクセルの解像度を提供します。AXIS Q61/Q63/P56 PTZシリーズとの動作に設計されており、ワンクリックでオーバービューから詳細なズームインビューに切り替えることができます。指向性音声検知機能を備えており、音声インシデントが検知されるたびにPTZカメラの向きを音声ソースの方に変えます。深層学習処理ユニット(DLPU)により、高度な機能とパワフルな分析機能をエッジで実行することができます。ハードウェアベースのサイバーセキュリティプラットフォーム「Axis Edge Vault」により、デバイスを保護して、機密情報への不正アクセスを防止することができます。さらに、USBポートを備えているため、設置担当者はWi-Fi Dongleを挿入し、カメラの映像を確認しながら素早く調整することができます。

- > 4つの5メガピクセルセンサーを搭載した360° カメラ
- > 現行のAXIS Q61/Q63/P56-E PTZ Camera推奨
- > Wi-Fi Dongle対応により容易な設置を実現
- > 方向性音声検知
- > 内蔵サイバーセキュリティ「Axis Edge Vault」



AXIS Q6300-E Panoramic Camera

カメラ

イメージセンサー
4個の1/2"プログレッシブスキャンRGB CMOS
ピクセルサイズ2.9 μm

レンズ
3.7 mm、F2.0
水平画角:360°、各センサー108.4°
垂直視野角: 84°
最短フォーカス距離:1.0 m (3.3 ft)
オートフォーカス、M14マウント、固定アイリス

デイナイト
自動IRカットフィルター

最低照度
カラー:0.06ルクス (50 IRE、F2.0)
白黒 :0.03ルクス (50 IRE、F2.0)

シャッター速度
1/66500秒～2秒

カメラ調整
パン±180°、チルト-40～+75°、回転±95°

システムオンチップ (SoC)

モデル
ARTPEC-8 (x2)

メモリー
RAM 8 GB、フラッシュ8 GB

コンピューティング機能
深層学習処理ユニット (DLPU)

ビデオ

ビデオ圧縮
H.264 (MPEG-4 Part 10/AVC) Baseline、Main、High Profile
H.265 (MPEG-H Part 2/HEVC) メインプロファイル
Motion JPEG

解像度
2592x1944～320x240 x 4
デフォルト：2592x1944

フレームレート
すべての解像度で最大30フレーム/秒 (50/60 Hz)

ビデオストリーミング
最大20の設定可能でユニークなビデオストリーム¹
Axis Zipstream technology (H.264/H.265)
フレームレートおよび帯域幅の制御
VBR/ABR/MBR H.264/H.265
低遅延モード
ビデオストリーミングインジケーター、

S/N比
55 dB超

WDR
Forensic WDR:最大120 dB (撮影シーンによる)

ノイズリダクション
空間的フィルター (2Dノイズリダクション)
時間的フィルター (3Dノイズリダクション)

画像設定
彩度、コントラスト、輝度、シャープネス、ホワイトバランス、デイナイトモード閾値、ローカルコントラスト、トーンマッピング、露出モード、露出エリア、デフォグ機能、圧縮、回転:0°、90°、180°、270° (コリドールフォーマットを含む)、オーバーレイ (テキスト/画像)、ダイナミックオーバーレイ (テキスト/画像)、オーバーレイウィジェット、32個のポリゴンプライバシーマスク (モザイクプライバシーマスクを含む)
シーンプロファイル：屋外、屋内、フォレンジック

画像処理
Axis Zipstream、Forensic WDR、Lightfinder 2.0

音声

音声機能
スピーカーのペアリング

音声出力
スピーカーペアリングまたはポートキャスト技術による出力

1. ユーザーエクスペリエンス、ネットワーク帯域幅、ストレージ使用率を最適化するために、カメラまたはチャンネルごとに固有のビデオストリームは最大3つまでをお勧めします。内蔵のストリーム再利用機能により、マルチキャストまたはユニキャスト転送方式を使用して、ネットワーク内の多くのビデオクライアントに固有のビデオストリームを提供できます。

ネットワーク

ネットワークプロトコル

IPv4、IPv6 USGv6、ICMPv4/ICMPv6、HTTP、HTTPS²、HTTP/2、TLS²、QoS Layer 3 DiffServ、FTP、SFTP、CIFS/SMB、SMTP、mDNS (Bonjour)、UPnP[®]、SNMP v1/v2c/v3 (MIB-II)、DNS/DNSv6、DDNS、NTP、NTS、RTSP、RTP、SRTP/RTSPS、TCP、UDP、IGMPv1/v2/v3、RTCP、ICMP、DHCPv4/v6、ARP、SSH、LLDP、CDP、MQTT v3.1.1、Secure syslog (RFC 3164/5424、UDP/TCP/TLS)、リンクローカルアドレス (設定不要)

システムインテグレーション

アプリケーションプログラミングインターフェース

VAPIX[®]、メタデータ、AXIS Camera Application Platform (ACAP) など、ソフトウェア統合のためのオープンAPI (仕様についてはaxis.com/developer-communityを参照)
ワンクリックによるクラウド接続
ONVIF[®] Profile G、ONVIF[®] Profile M、ONVIF[®] Profile S、ONVIF[®] Profile T (仕様についてはonvif.orgを参照)

ビデオ管理システム

AXIS Camera Station Edge、AXIS Camera Station Pro、AXIS Camera Station 5、およびaxis.com/vmsで入手可能なAxis/パートナー製ビデオ管理ソフトウェアに対応。

画面上コントロール

プライバシーマスク
オートパイロット
方向性音声検知
メディアクリップ
ヒーター

エッジツーエッジ

スピーカーのペアリング

イベント条件

アプリケーション: オートパイロットトラッキング
デバイス状態: 動作温度範囲外、ファンの故障、IPアドレスのブロック、IPアドレス削除、ライブストリーム有効、ネットワーク接続断絶、新規IPアドレス、PTZ電源障害、システムの準備完了、動作温度範囲内
指向性音声検知: 音声の検知
エッジストレージ: 録画中、ストレージの中断、ストレージの健全性に関する問題を検出
I/O: 手動トリガー、仮想入力
MQTT: MQTTクライアント接続、ステートレス
PTZ: PTZ動作不良、カメラでのPTZの動き、PTZ準備完了
スケジュールおよび繰り返し: スケジュール
ビデオ: 平均ビットレート低下、デイナイトモード、いたずら

イベントアクション

オートパイロット: オートパイロットをオンにする
デイナイトモード: モードを使用
デフォグ機能: モードを設定
指向性音声検知: DADをオン、PTZをオン
画像: FTP、SFTP、HTTP、HTTPS、ネットワーク共有、電子メールを介して送信
LED: ステータスLEDの点滅
MQTT: 公開メッセージを送信
通知: HTTP、HTTPS、TCP、電子メールを介して送信
オーバーレイテキスト: オーバーレイテキストを使用
録画: ビデオを録画
セキュリティ: 設定の消去
SNMPトラップメッセージ: メッセージの送信
ビデオクリップ: FTP/SFTP/HTTP/HTTPS/ネットワーク共有/電子メール

設置支援機能内蔵

ピクセルカウンタ、リモートフォーカス、レベルグリップ

分析機能

アプリケーション

同梱

AXIS Object Analytics、AXIS Scene Metadata、AXIS Audio Analytics、AXIS Video Motion Detection、いたずら警告
サポート

AXIS Camera Application Platformに対応し、サードパーティ製アプリケーションをインストール可能 (axis.com/acapを参照)

マルチセンサー分析機能

4チャンネルの分析サポート

AXIS Object Analytics

物体クラス: 人間、車両 (タイプ: 車、バス、トラック、バイク、その他)

シナリオ: ライン横断、物体の対象範囲への侵入、物体の対象範囲への侵入- オートパイロット、領域内の滞留時間による検知、クロスラインカウント、エリア内の混雑状況、共連れ検知、PPE監視、BETA、エリア内の動き、エリア内の動き- オートパイロット、ライン横断の動き

最大シナリオ数は10本まで

その他の機能: 軌跡、色分けされた境界ボックスおよびテーブルで視覚化されたトリガー物体

対象範囲と除外範囲

奥行きの設定

ONVIF動体アラームイベント

AXIS Audio Analytics

機能: 適応音声検知、音声分類

音声分類: 悲鳴、叫び声、ガラスが割れる音

イベントメタデータ: 音声検知、分類

2. この製品には、OpenSSL Toolkitで使用するためにOpenSSL Project (openssl.org) によって開発されたソフトウェアとEric Young (eyay@cryptosoft.com) によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。

AXIS Scene Metadata

物体クラス:人、顔、車両 (種類:車、バス、トラック、バイク)、ナンバープレート
物体属性:車両の色、上/下の服の色、信頼度、ポジション
音声データ: 音声レベル

認証

製品のマーキング

UL/cUL、CE、KC、EAC、VCCI、RCM

サプライチェーン

TAA準拠

EMC

CISPR 35、CISPR 32 Class A、EN 55035、
EN 55032 Class A、EN 50121-4、EN 61000-6-1、
EN 61000-6-2

オーストラリア/ニュージーランド:

RCM AS/NZS CISPR 32 Class A

カナダ: ICES(A)/NMB(A)

日本: VCCI Class A

韓国: KS C 9835、KS C 9832 Class A

米国: FCC Part 15 Subpart B Class A

鉄道: IEC 62236-4

安全性

CAN/CSA-C22.2 No62368-1 ed. 3、
IEC/EN/UL 62368-1 ed.3

環境

IEC 60068-2-1、IEC 60068-2-2、IEC 60068-2-6、
IEC 60068-2-14、IEC 60068-2-27、IEC 60068-2-78、
IEC/EN 60529 IP66、IEC/EN 62262 IK10、NEMA 250
Type 4X、NEMA TS 2 (2.2.7-2.2.9)、ISO 12944-6 C5

ネットワーク

NIST SP500-267

サイバーセキュリティ

FIPS 140

サイバーセキュリティ

エッジセキュリティ

ソフトウェア: 署名付きOS、総当たり攻撃による遅延からの保護、ダイジェスト認証、OAuth 2.0 RFC6749 Client Credential Flow/OpenID認定コードフローによるADFSアカウント一元管理、パスワード保護、Axis Cryptographic Module (FIPS 140-2 level 1)

ハードウェア: Axis Edge Vaultサイバーセキュリティプラットフォーム

安全なキーストア: セキュアエレメント (CC EAL 6+、FIPS 140-3 Level 3)

AxisデバイスID、署名付きビデオ、セキュアブート、暗号化ファイルシステム(AES-XTS-Plain64 256bit)

ネットワークセキュリティ

IEEE 802.1X (EAP-TLS、PEAP-MSCHAPv2)³、IEEE 802.1AR、HTTPS/HSTS³、TLS v1.2/v1.3³、Network Time Security (NTS)、X.509証明書PKI、ホストベースのファイアウォール

文書化

AXIS OS/ハードニングガイド

Axis脆弱性管理ポリシー

Axisセキュリティ開発モデル

AXIS OSソフトウェア部品表 (SBOM)

ドキュメントをダウンロードするには、axis.com/support/cybersecurity/resourcesにアクセスしてください。

Axisのサイバーセキュリティのサポートの詳細については、axis.com/cybersecurityにアクセスしてください。

概要

ケーシング

IP66、NEMA 4X、およびIK10の各規格に準拠

ハードコーティングされたポリカーボネートドーム
アルミニウム/ポリマー製ケース

カラー: 白 NCS S 1002-B

再塗装の手順については、製品のサポートページを参照してください。保証への影響については、axis.com/warranty-implication-when-repaintingにアクセスしてください。

電源

Solo Kit付きパノラマカメラ:

Power over Ethernet (PoE) IEEE 802.3bt 60 W

カメラ消費電力: 標準 14.3 W、最大 47.3 W

PTZカメラ付きパノラマカメラ:

-30 ° C (-22 ° F) 以上:Power over Ethernet (PoE)

IEEE 802.3bt 90 W

カメラ消費電力: 標準 29.3 W、最大 80 W

-30 ° C (-22 ° F) 以下:AXIS High PoE 120 W

カメラ消費電力: 標準 29.3 W、最大 103.4 W

機能: 電源プロファイル、パワーメーター

コネクター

ネットワーク:シールド付きRJ45 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T PoE

USB: Mediatek社製 MT7612Uチップ対応Wi-Fi Dongle
用、対応USBクラス: Vendor specific

ストレージ

microSD/microSDHC/microSDXCカードに対応

SDカード暗号化に対応 (AES-XTS-Plain64 256bit)

NAS (Network Attached Storage) への録画

推奨されるSDカードとNASについては、axis.comを参照

3. この製品には、OpenSSL Toolkitで使用するためにOpenSSL Project (openssl.org) によって開発されたソフトウェアとEric Young (eyay@cryptsoft.com) によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。

動作温度

NEMA TS 2 (2.2.7) による最高温度:74°C (165 ° F)

Solo Kit付きパノラマカメラ:

温度:-50° C~55° C (-58° F~131° F)

起動温度:-40 ° C (-40 ° F)

PTZカメラ付きパノラマカメラ:

Power over Ethernet (PoE) IEEE 802.3bt 90 W使用時の

温度:-40°C~55°C (-40 ° F~131 ° F)

起動温度:-30 ° C (-22 ° F)

Axis High PoE 120 W使用時の温度:-50° C~55° C (-58° F~131° F)

起動温度:-40 ° C (-40 ° F)

湿度:10~100% RH (結露可)

保管条件

温度:-40°C~65°C (-40 ° F~149 ° F)

湿度:5~95% RH(結露不可)

寸法

製品全体の寸法については、このデータシートの寸法図を参照してください。

有効投影面積 (EPA): 0.047 m² (0.5 ft²)

重量

4.0 kg (8.8 lb))

パッケージ内容

カメラ、アダプターブラケット、インストールガイド、所有者認証キー

オプションアクセサリー

レンズ M14 7.6 mm F2.0 IR、水平画角: 58.5°

レンズ M14 14.1 mm F2.0 IR、水平画角: 31°

レンズ M14 21.4 mm F2.0 IR、水平画角: 19.9°

レンズ M14 30.8 mm F2.4 IR、水平画角: 13.8°

AXIS T8415 Wireless Installation Tool

AXIS Surveillance Card

その他のアクセサリーについては、axis.com/products/axis-q6300-e#accessoriesにアクセスしてください。

システムツール

AXIS Site Designer、AXIS Device Manager、プロダクトセクター、アクセサリーセクター、レンズカリキュレーター

axis.comで入手可能

言語

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、中国語 (簡体字)、日本語、韓国語、ポルトガル語、ポーランド語、中国語 (繁体字)、オランダ語、チェコ語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、タイ語、ベトナム語

保証

5年保証、axis.com/warrantyを参照

製品番号

axis.com/products/axis-q6300-e#part-numbersで入手可能

サステナビリティ

物質管理

PVC不使用、BFR/CFR不使用 (JEDEC/ECA標準JS709に準拠)

RoHS、EU RoHS指令2011/65/EUおよび2015/863、規格EN IEC 63000:2018に準拠

REACH (EC) No 1907/2006に準拠。SCIP UUIDについては、echa.europa.euを参照

材料

再生可能な炭素系プラスチックの含有率: 42.3% (再生プラスチック: 12.8%、バイオ系: 29.5%)

OECDガイドラインに従って紛争鉱物について検査済み

Axisの持続可能性の詳細については、axis.com/about-axis/sustainabilityにアクセスしてください。

環境責任

axis.com/environmental-responsibility

Axis CommunicationsはUN Global Compactの署名企業です (詳細についてはunglobalcompact.orgを参照)

検知、監視、認識、識別 (DORI)

3.7 mmレンズ

	DORIの定義	距離
検知	25 px/m (8 px/ft)	46.1 m (151.2 ft)
観察	63ピクセル/m (19 ピクセル/ft)	19.4 m (63.6 ft)
認識	125 px/m (38 px/ft)	10 m (32.8 ft)
識別	250 px/m (76 px/ft)	5.1 m (16.7 ft)

8 mmレンズ

	DORIの定義	距離
検知	25 px/m (8 px/ft)	99.0 m (324.8 ft)
観察	63ピクセル/m (19 ピクセル/ft)	40.8 m (133.9 ft)
認識	125 px/m (38 px/ft)	20.8 m (68.2 ft)
識別	250 px/m (76 px/ft)	10.5 m (34.4 ft)

14 mmレンズ

	DORIの定義	距離
検知	25 px/m (8 px/ft)	180.9 m (593.5 ft)
観察	63ピクセル/m (19 ピクセル/ft)	75.3 m (247.0 ft)
認識	125 px/m (38 px/ft)	38.5 m (126.3 ft)
識別	250 px/m (76 px/ft)	19.4 m (63.6 ft)

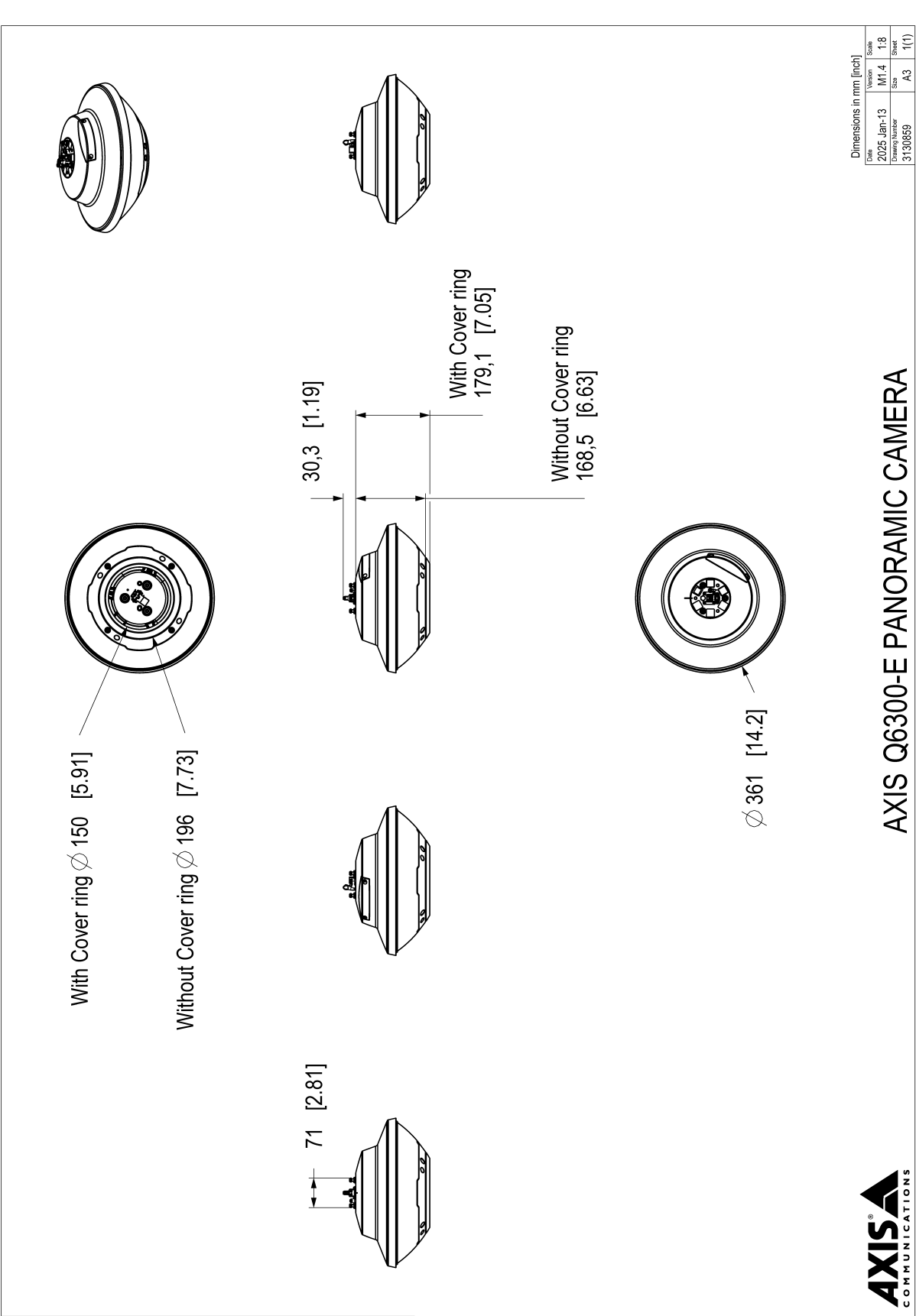
21 mmレンズ

	DORIの定義	距離
検知	25 px/m (8 px/ft)	317.5 m (1041.7 ft)
観察	63ピクセル/m (19 ピクセル/ft)	120.9 m (396.7 ft)
認識	125 px/m (38 px/ft)	60.1 m (197.2 ft)
識別	250 px/m (76 px/ft)	29.9 m (98.1 ft)

31 mmレンズ

	DORIの定義	距離
検知	25 px/m (8 px/ft)	428.7 m (1406.5 ft)
観察	63ピクセル/m (19 ピクセル/ft)	169.3 m (555.4 ft)
認識	125 px/m (38 px/ft)	85.2 m (279.5 ft)
識別	250 px/m (76 px/ft)	42.6 m (139.8 ft)

DORI値は、EN-62676-4規格で推奨されているように、用途別のピクセル密度を使用して計算されます。この計算では、画像の中心を基準点として使用し、レンズの歪みを考慮します。人物や物体を認識または識別できる可能性は、物体の動き、ビデオ圧縮、照明条件、カメラのフォーカスなどの要因によって変わります。計画時にマージンを使用します。ピクセル密度は画像の各部分で変わり、計算値は現実世界の距離とは異なる場合があります。



注目の機能

ガーレベルを超える急激な音の振幅の増加に反応します。

Axis Edge Vault

Axis Edge Vaultは、Axisの装置を保護するハードウェアベースのサイバーセキュリティプラットフォームです。すべてのセキュアな運用が依存する基盤を形成し、装置のIDを保護して、完全性を保護し、不正アクセスから機密情報を保護する機能を提供します。たとえば、**セキュアブート**は、装置が**署名付きOS**でのみ起動できるようにするため、サプライチェーンにおける物理的な改ざんを防止することができます。署名付きOSの場合は、デバイスで新しいデバイスソフトウェアが検証されてからインストールが受け付けられるようになります。また、**セキュアキーストア**は、安全な通信で使用される暗号情報 (IEEE 802.1X、HTTPS、Axis装置ID、アクセスコントロールキーなど) を、セキュリティ侵害が発生した際に悪意のある抽出から保護するための重要な構成要素です。セキュアキーストアや安全な通信は、Common CriteriaやFIPS 140認証のハードウェアベースの暗号計算モジュールを通して提供されます。

さらに、署名付きビデオにより、ビデオ証拠が改ざんされていないことを確認できます。各カメラは、セキュアキーストアに安全に保存された固有のビデオ署名付きキーを使用して、ビデオストリームに署名を追加し、ビデオの発信元をAxisカメラまで遡れるようにします。

Axis Edge Vaultの詳細については、[axis.com/solutions/edge-vault](https://www.axis.com/solutions/edge-vault)にアクセスしてください。

AXIS Object Analytics

AXIS Object Analyticsはプリインストールされたマルチフィードビデオ分析機能です。人、車両、車両タイプの検知と分類を実行します。AIベースのアルゴリズムと行動条件のおかげで、シーンとその中の空間的な動きを分析できます。お客様固有のニーズに合わせて設定をカスタマイズ可能です。拡張性が高くエッジベースであるため、最小限の設定により、同時に実行されるさまざまなシナリオに対応できます。

方向性音声検知

多くのAxisネットワークカメラは音声検知分析機能に対応しており、銃声、車の衝突音、悲鳴などの音を検知すると即座に警報を発してオペレーターに通知し、ビデオを補完する貴重なツールとなります。指向性音声検知は、AXIS Q6300-Eが音声インシデントを検知し、統合されたPTZカメラを音源の方向に自動的に向けることができる、より高度な機能です。この機能は、設定されたトリ